【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第５区分
【発行日】平成22年5月20日(2010.5.20)

【公開番号】特開2008-280620(P2008-280620A)
【公開日】平成20年11月20日(2008.11.20)
【年通号数】公開・登録公報2008-046
【出願番号】特願2007-123019(P2007-123019)
【国際特許分類】
Ｄ０５Ｃ　9/04　(2006.01)
Ｄ０５Ｂ　19/16　(2006.01)
Ｄ０５Ｂ　39/00　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｄ０５Ｃ　9/04
Ｄ０５Ｂ　19/16
Ｄ０５Ｂ　39/00

【手続補正書】
【提出日】平成22年4月7日(2010.4.7)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００２７】
（ｉ）センサー４１とエアシリンダ３４の連係動作により保持枠１５をテーブル５の所定位置に係止するので、オペレータはロッド３６と係止孔３７との相対位置を事前に確認する必要がなくなり、制御装置３９の枠移動スイッチを押すだけの簡単な操作で、縫製枠６を張付開始位置に自動的に位置決めすることができる。
（ｊ）センサー４１をエアシリンダ３４と同列に配設したので、複数本のロッド３６を係止孔３７にミスなく一斉に嵌入でき、保持枠１５の複数個所をテーブル５に的確に係止できる。
（ｋ）このため、オペレータは原反Ｆを一人で縫製枠６に短時間に張り付けることができ、刺繍加工品の生産性が高まる。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２８
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００２８】
本発明は前記実施例に限定されるものではなく、以下に例示するように、発明の趣旨を逸脱しない範囲で各部の構成を適宜変更して実施することも可能である。
（１）図３の布張り装置１３とは前後を逆にし、原反の前側縁を前枠６ｃの布保持部に保持し、加工領域の後側縁を左右に長い保持枠１５に保持し、保持枠１５をテーブル５の後部に係止した状態で、縫製枠６を前方へ移動して、原反を前後方向へ引き伸ばすこと。
（２）原反の左側縁を左側枠６ａの布保持部１４に保持し、原反の右側縁を前後に長い保持枠に保持し、保持枠をテーブル５の右端部に係止した状態で、縫製枠６を左方へ移動して、原反を左右方向へ引き伸ばすこと。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００２９
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００２９】
（３）原反の後側縁を後枠６ｂの布保持部１４に保持し、原反の前側縁を左右に長い保持枠１５に保持するとともに、原反の右側縁を右側枠に保持し、原反の左側縁を前後に長い保持枠に保持し、保持枠１５をテーブル５の前端部と左端部とに係止した状態で、縫製枠６を後方及び右方へ移動して、原反を前後左右方向へ引き伸ばすこと。
（４）縫製枠に対する原反の歪みを検出する歪みゲージを設け、オペレータが歪みゲージの表示に基づいて原反を縫製枠に歪みのない状態で張り付けできるようにすること。